首憲法共同センターNEWS 2025年9月12日202号

北海道憲法共同センター ☎011-252-7475 FAX011-252-7483 mail: love9hokkaido@gmail.com

GAZA

'My youngest child doesn't know what fruit tastes like': Gaza residents on famine

"Since the war began, I can't find what I need in the market... and living in a tent that shields us neither from the heat of summer nor the cold of winter - and now famine on top of it?" 「この子は果物がどんな味か知らない」「国連の飢 餓宣言も遅すぎ…でも、大事」「マーケット行っても必要なも のはない | 「住むのはテントになり、それは夏の暑さ、冬の寒 さの盾にはならない |・・・ガザのママたちの声を伝える BBC ニュースに胸がつぶれます。

グレタらのガザ支援船出向を報じる今朝の「しんぶん赤 旗|。カタールでのハマス幹部暗殺に失敗したイスラエル軍の ガザ市医療機関空爆を新聞各紙が報じます。

14日(日)サリーム医師講演

国連総会も始まり、世界に広がるイスラエル包囲の声。 そのなか、札幌でもパレスチナ医療奉仕団など呼びかけの 行動が連続します。

明日13日土曜は札幌駅前で「パレスチナの命を守れ!| アクション(午後1時札幌駅南口広場で)。明後日、14日に はパレスチナ・東エルサレムで難民医療にとりくむサリーム 医師をお招きしての講演会(右。エルプラザ2F環境研究室、 13:00開場、13:30から講演)も。多数のご参加を

'My youngest child doesn't know what fruit tastes like': Gaza residents on famine

22 August 2025

Tom Bennett BBC News in London and Rushdi Abualouf Gaza





2025年「北海道パレスチナ医療奉仕団」

パレスチナ・東エルサレムで難民医療に取り組む サリーム医師が語る ・ガザ地区とヨルダン川西岸の現実と未来ヘ

2023年10月7日のイスラエルによるガザ地区への軍事侵攻、そして大規模な虐殺行為が始まって2年が終とうとしています。この間に理解による死者が確認されただけで7万人を超え、さらに医療関係者やジャーナリストを狙った殺害。食材支援トラックの親入理したよる銀死者の増加等、明らかに民族地滅を狙った多面的なジェノサイドは、最終段階に近づきつつあります。一方、ヨルダン川西岸や東エルサレムでは、凶遅化する入権者とイスラエル事により、1000 大を超す犠牲者と新たな入橋地の拡大で、まさに「第2のガザ」となりつつあります。こうした中で、東エルサレム、シュファット難民キャンプから現地でパレスチナ難民のために尽力しているサリム医師を招き、「パレスチナの現実と未来」について語っていただきます。この機会に管さまと常見交換の場を準備いたします。この機会に言かままと常見交換の場を準備いたします。この機会に言かままと常見交換の場を準備いたします。この機会に言かままと常見交換の場を準備いたします。この機会にこれるようの方のご出席を心かとなった。

北海道パレスチナ医療奉仕団団長

68465551202:pwd~KXUaFn9Jq9rmGKpda8ZdQUURdxDZD;.1 1202 / XX IIII F ; 164506



サリーム・アナティ医師 東エルサレム・シュファット第民キャンプ。慈善協会理事 長 1948年のナクパ 時、東エルサレム、シュファット難民キャンプに移住した両親のも

は 1940 存化 生まれ育 : 1978 年 ルーマニア、フラオファ大学医学部入学 1978 年 ルーマニア、フラオケーペリ、UNWA OIS 総として確認の健康管理にとりくむ。 1985 年 福内医として東エルケレムの場合・副士化シーに動物 480 医として東エルケレムの場合・副士化シーに動物。低に影響所名を務める







●「パレスチナの命を救え!」札幌駅アクション(13 日 13:00 札幌駅南口、医療奉仕団よびかけ)

サリーム医師講演会(エルプラザ2F 環境研究室、13:00開場、講演 13:30、同)